

東日本大震災追悼・復興式典の開催

在ルーマニア日本大使館



雨宮大使挨拶



バセスク大統領挨拶



出席者全員による黙禱



レセプションの様子

3月14日（水），18：30～21：00，在ルーマニア日本大使館は，ルーマニア国立美術館 Sala Auditoriumにおいて東日本大震災追悼・復興式典を開催しました。

同式典には，バセスク大統領夫妻，フネリウ大統領補佐官，マノイユ大統領補佐官，アウレスク外務次官，ジョアーナ・ルーマニア赤十字社総裁をはじめ，震災後に様々な形で御支援・御協力を頂いたルーマニア政府・民間関係者約400名が出席しました。

式典後にはレセプションが催され，日本産品を用いた料理や日本酒などが振る舞われました。

雨宮大使及び来賓によるご挨拶

式典冒頭、東日本大震災の犠牲者に対し黙禱が捧げられた後、雨宮大使より、震災後のルーマニアからの支援に対する謝意、日本の復興状況及び今後の国際貢献への決意が述べられました。

バセスク大統領からは、大震災後に日本人が示した強靱さや復興のスピードへの賞賛が述べられるとともに、同大統領自身が船長時代に乗っていた商船が仏港で火災に見舞われた際、ボタン1つを押して全ての消火システムが稼働し事なきを得た経験があったが、同船は日本製で、日本の技術が如何に優れたものであるかを再認識したといったエピソードが披露され、このような災害等乗り越える日本人の団結精神や技術力が日本を引き続き世界の主要国の一員たらしめている旨の最大限の賛辞が表明されました。

ジョアーナ総裁からは希望を失わず、忍耐をもって震災を乗り越える日本人の威厳と連帯に対し敬意が表されると共に、日本人への連帯活動に貢献したルーマニア人に対し、感謝の意が示されました。

式典を彩った若い世代の日本人のパフォーマンス



ステージ上の野村天圭衣氏作品



堀川香奈子氏によるピアノ演奏



子どもたちによる詩の朗読

式典会場においては、パリ在住の若手華道家、野村天圭衣氏が日本の復興に思いを込めて桜等を使用した生け花の装飾を行い、式典を行ったステージ上及び会場ロビーに作品を展示しました。

また、式典中、パリを中心に活動する若手ピアニスト堀川香奈子氏により、震災後に日本人の不安を癒した「見上げてごらん夜の星を」を含む3曲のピアノ演奏が披露されました。

さらに、日本の将来を担う子どもたち（ブカレスト日本人学校生徒2名）が、宮澤賢治の詩「雨ニモマケズ」を日本語とルーマニア語で朗読するとともに、会場に対し、力強く感謝と復興のメッセージを述べました。

これら前途洋々たる若い世代の日本人のパフォーマンスを通じて、大震災の犠牲者の追悼、ルーマニアをはじめ全世界からの支援に対する謝意及び日本の復興への決意を出席者に強く印象づけました。

子どもたちの絵を通して紡がれる日本とルーマニアの絆



式典会場に展示された子どもたちの絵画

震災後間もない時期、ブカレスト市第2区の子どもたちが被災地の子ども達を勇気づけるために絵画を贈ってくれました。それらの絵画は被災地の福島県立美術館で展示され、ルーマニアの子どもたちの優しい気持ちが被災地に届けられました。

震災後の世界各国からの支援を受け、被災地の子どもたちからは感謝の気持ちを込めて絵画を描きました。

それらの絵画や写真は式典の会場ロビーに展示され、出席者に紹介されました。

東日本大震災という悲しい出来事を逆に契機として、日本とルーマニアの絆はより強いものとなりました。在ルーマニア日本大使館は、今後もより一層の二国間関係の発展のため活動していきます。